



新年明けて、早くも1ヶ月が経ちましたね。毎日寒い日が続いていますが、子どもたちは元気に過ごしています。寒さが深まってくるので、適度に体を動かし休息も十分にとり元気に過ごしていきたいですね。

最近のもみじ組さんは、お部屋でのおもちゃ遊びを自分たちでそれぞれ考え、工夫して色々な遊び方をして過ごしています。そんな遊びに関して今回は、お話していきます。

★遊びとは・・・

子どもたちは、遊びを身近なものから見つけます。それは見るもの、聞くもの、触れるもの全てが遊びに繋がるからです。重ねカップを打ち合わせたり、転がしたり、本来の遊び方ではないですが子ども自身が楽しんでいるのであればそれは遊びなのです。

★遊びは心の発達にも重要です。遊びの中で「楽しい」という快感。欲求が満たされると情緒が安定されます。

★信頼できる大人に見守られ、安心できる環境の中で遊びの範囲が広がり大人や子どもとの関わりも増えてきます。関わりの中で、ルール、言葉や仕草でのやり取りによって社会性を学んでいきます。

◆子どもの姿・・・

最近のもみじ組では、おもちゃをいくつか同時に出して、組み合わせて遊ぶのが流行っています。例えば、チェーンのおもちゃが何種類か色があり、全部出し透明のタッパー容器に一つにまとめて入れて視覚を楽しんだり、振って大きな音になるのを楽しんだりしています。チェーンを重ねカップも入れて食べる真似をして見立て遊びをしたり、チェーンが入るかな？とオーボールの穴に通してみたりして遊んでいます。型はめおもちゃの型にチェーンを入れてみたり何通りもの遊び方を子どもたち自身が考え遊んでいるので驚かされています。これからも、このような子どもの「やってみよう！」の気持ちを大切にしながら一緒に遊び、共感し子どもの目線で見守っていききたいと思います。

